

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年8月8日

上場会社名 ノーリツ鋼機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7744 URL http://www.noritsu.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)西本 博嗣  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)山元 雄太 (TEL)03-3505-5053  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,291	9.0	769	18.1	769	3.0	231	△44.6	231	△44.7	113	△86.4
28年3月期第1四半期	10,362	—	651	—	747	—	418	—	418	—	836	△48.0

(注)28年3月期第1四半期の売上収益及び営業利益の対前年同四半期増減率は、前期連結累計期間における子会社の売却に伴う非継続事業の分離による影響を受けるため、記載を省略しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	6.49	5.55
28年3月期第1四半期	11.74	10.68

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	112,358	54,106	52,579	46.8
28年3月期	102,873	52,621	52,574	51.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
平成29年3月期	—	—	—	—	—
平成29年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	13.5	1,100	△33.5	1,000	△33.6	300	△58.2	8.42
通期	50,000	15.6	4,600	125.9	4,300	93.5	2,200	—	61.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)株式会社ジーンテクノサイエンス、除外 0社

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	36,190,872株	28年3月期	36,190,872株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	576,880株	28年3月期	576,880株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	35,613,992株	28年3月期1Q	35,614,025株
----------	-------------	----------	-------------

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューを実施中です。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社グループは前第1四半期連結累計期間より、従来の日本基準に替えて国際会計基準(以下「IFRS」という。)を適用しております。

#### (1) 業績の状況

当社グループの当第1四半期連結累計期間においては、継続して「ものづくり」「環境」「食」「医療」「シニア・ライフ」各分野の収益力の強化に取り組んでまいりました。

当四半期連結累計期間における事業の状況は、ものづくり分野ではテイボー株式会社の、主としてペン先部材の生産・販売事業において、北米を中心とした海外向け売上が堅調に推移したこと、医療分野ではGeneTech株式会社が連結子会社に加わったこと等により、増収増益となりました。また、その他の分野についても堅調に推移いたしました。結果、売上収益は112億91百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は7億69百万円(前年同期比18.1%増)、四半期利益は2億31百万円(前年同期比44.6%減)となりました。

なお、前第4四半期連結会計期間において、NKワークス株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社エム・エム・ティーの保有する全株式を売却いたしました。そのため、当該3社の営む事業について非継続事業として分類いたしました。それに伴い、比較年度の損益情報は、修正再表示しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメント別の売上収益は外部顧客への売上収益を記載しており、またセグメント損益は各セグメント間取引の調整額を加算したものであります。

#### ① ものづくり

テイボー株式会社の、主としてペン先部材の生産・販売事業において、北米を中心とした海外向け売上が堅調に推移し、売上収益は25億8百万円と前年同期と比べ1億47百万円(6.3%増)の増収となりました。

セグメント利益は、上述の増収に加え販管費の削減等により、6億31百万円(26.2%増)と前年同期と比べ1億31百万円の増益となりました。

#### ② 環境

売上収益は28百万円と前年同期と比べ同水準となりました。

セグメント利益は、12百万円(13.2%減)と前年同期と比べ1百万円の減益となりました。

#### ③ 食

レタス市場における豊作を原因とした販売価格下落により、売上収益は89百万円と前年同期と比べ3百万円(3.2%減)の減収、セグメント損失は、29百万円(前年同期はセグメント損失22百万円)と前年同期と比べ7百万円の減益となりました。

#### ④ 医療

当第1四半期に連結子会社に加わった子会社のうち、GeneTech株式会社は取得日が4月であるため、業績に寄与いたしました。またレセプト・データの分析及び調査事業、遠隔医療支援サービス事業、歯科及び医療機関に対する歯科材料・医療材料の通信販売事業等が、各事業ともに安定的に推移しました。その結果、売上収益は33億2百万円と前年同期と比べ8億11百万円(32.6%増)の増収、セグメント利益は72百万円(前年同期はセグメント損失9百万円)と前年同期と比べ81百万円の増益となりました。

#### ⑤ シニア・ライフ

シニア・ライフ分野での通信販売事業においては、セール向けのプロモーションが奏功し、売上収益は52億75百万円と前年同期と比べ59百万円(1.1%増)の増収、セグメント利益は1億22百万円(前年同期はセグメント利益75百万円)と前年同期と比べ47百万円(63.0%増)の増益となりました。

⑥ その他

その他の事業におきましては、売上収益が86百万円、セグメント損失が10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,123億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して94億84百万円増加しました。

流動資産は、33億15百万円の減少となりました。これは主に現金及び現金同等物が64億74百万円減少したこと、売上債権及びその他の債権が17億32百万円、棚卸資産が7億63百万円増加したことによるものです。

非流動資産は、127億99百万円の増加となりました。これは主として子会社の買収によりのれんが106億36百万円、その他の金融資産が13億38百万円増加したことによるものです。なお当第1四半期連結累計期間に行った企業結合によるのれんの増加額は、暫定的な金額です。

負債は、79億99百万円の増加となりました。これは借入金（流動・非流動）が58億88百万円、仕入債務及びその他の債務が12億35百万円増加したことによるものです。

資本は、14億85百万円の増加となりました。これは主に四半期利益2億31百万円の計上と配当実施等の結果、利益剰余金が88百万円増加したこと、非支配持分が14億79百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ64億74百万円減少し247億12百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3億85百万円の資金の減少となりました。資金の減少の主な要因は、売上債権及びその他の債権の増加額7億80百万円、法人所得税費用の支払額6億79百万円、棚卸資産の増加額3億75百万円となっており、資金増加の主な要因は、非継続を含む税引前四半期利益7億36百万円、減価償却費及び償却費4億54百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは101億90百万円の資金の減少となりました。資金の減少の主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出90億33百万円、その他の金融資産の取得9億50百万円となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは42億3百万円の資金の増加となっております。資金の増加の主な要因は、長期借入金による収入が50億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2016年5月18日公表の「2016年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、株式会社ジーンテクノサイエンスが実施する第三者割当増資の引受け及び同社の株券等の公開買付けを実施した結果、同社は連結子会社となりました。なお、株式会社ジーンテクノサイエンスは、当社の特定子会社に該当します。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度末 (2016年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2016年6月30日)
(資産の部)			
流動資産			
現金及び現金同等物		31,187	24,712
売上債権及びその他の債権		8,649	10,381
棚卸資産		3,631	4,394
その他の金融資産		996	996
その他の流動資産		339	1,002
流動資産合計		44,803	41,488
非流動資産			
有形固定資産		4,986	5,640
のれん		32,321	42,958
無形資産		15,852	15,886
投資不動産		137	137
持分法で会計処理されている 投資		350	333
退職給付に係る資産		150	150
その他の金融資産		3,136	4,475
繰延税金資産		1,097	1,134
その他の非流動資産		35	153
非流動資産合計		58,069	70,869
資産合計		102,873	112,358

(単位：百万円)

	注記	前連結会計年度末 (2016年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2016年6月30日)
(負債及び資本の部)			
流動負債			
仕入債務及びその他の債務		7,654	8,889
借入金		3,449	4,222
その他の金融負債		114	472
未払法人所得税		713	722
引当金		15	15
その他の流動負債		2,895	3,102
流動負債合計		14,842	17,424
非流動負債			
借入金		29,265	34,381
その他の金融負債		43	231
繰延税金負債		5,499	5,378
退職給付に係る負債		480	607
引当金		93	195
その他の非流動負債		27	31
非流動負債合計		35,409	40,826
負債合計		50,252	58,251
資本			
資本金		7,025	7,025
資本剰余金		17,335	17,335
利益剰余金		29,544	29,632
自己株式		△1,211	△1,211
その他の資本の構成要素		△119	△202
親会社の所有者に帰属する 持分合計		52,574	52,579
非支配持分		47	1,527
資本合計		52,621	54,106
負債及び資本合計		102,873	112,358



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	4	10,362	11,291
売上原価		△5,405	△5,867
売上総利益		4,958	5,423
販売費及び一般管理費		△4,299	△4,625
その他の収益		40	37
その他の費用		△48	△67
営業利益		651	769
持分法による投資損失		△3	△17
金融収益		231	136
金融費用		△131	△118
税引前四半期利益		747	769
法人所得税費用		△208	△505
継続事業からの四半期利益		538	264
非継続事業からの四半期利益 (△は損失)		△120	△33
四半期利益		418	231
四半期利益の帰属：			
親会社の所有者		418	231
非支配持分		0	0
合計		418	231
基本的1株当たり四半期利益(△は損失) (親会社の所有者に帰属する額)	6	(円)	(円)
継続事業		15.11	7.41
非継続事業 (△は損失)		△3.37	△0.93
基本的1株当たり四半期利益合計		11.74	6.49
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失) (親会社の所有者に帰属する額)	6	(円)	(円)
継続事業		14.42	6.48
非継続事業		△3.74	△0.93
希薄化効果調整後1株当たり四半期利益合計		10.68	5.55

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益		418	231
その他の包括利益：			
純損益に振り替えられることのない項目：			
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動		89	4
純損益に振り替えられることのない項目合計		89	4
純損益に振り替えられる可能性のある項目：			
在外営業活動体の換算差額		329	△122
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計		329	△122
税引後その他の包括利益		418	△118
四半期包括利益合計		836	113
四半期包括利益合計の帰属：			
親会社の所有者		836	112
非支配持分		0	0
合計		836	113

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
						その他の包括利益を通 じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2015年4月1日 残高		7,025	17,597	32,262	△1,211	81	462	544	56,219	36	56,255
四半期利益 (△は損失)				418				-	418	0	418
その他の包括利益 (△は損失)						89	329	418	418	0	418
四半期包括利益 (△は損失)合計		-	-	418	-	89	329	418	836	0	836
新株予約権の発行								-	-	12	12
配当金				△142				-	△142		△142
その他の包括利益 から利益剰余金への 振替				88		△88		△88	-		-
所有者との取引額 合計		-	-	△54	-	△88	-	△88	△142	12	△130
2015年6月30日 残高		7,025	17,597	32,626	△1,211	82	792	874	56,913	48	56,962

当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素				親会社の 所有者に帰属 する持分合計	非支配 持分	資本 合計
						新株 予約権	その他の包括利益を通 じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	在外営業 活動体の 換算差額	合計			
2016年4月1日 残高		7,025	17,335	29,544	△1,211	-	△84	△35	△119	52,574	47	52,621
四半期利益 (△は損失)				231						231	0	231
その他の包括利益 (△は損失)							4	△122	△118	△118	△0	△118
四半期包括利益 (△は損失)合計		-	-	231	-	-	4	△122	△118	112	0	113
新株予約権の発行						35			35	35		35
配当金				△142					-	△142		△142
連結子会社の範囲 変更による増加									-	-	1,478	1,478
その他の包括利益 から利益剰余金への 振替				△0			0		0	0		0
所有者との取引額 合計		-	-	△142	-	35	0	-	35	△107	1,478	1,371
2016年6月30日 残高		7,025	17,335	29,632	△1,211	35	△80	△157	△202	52,579	1,527	54,106

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益		747	769
非継続事業からの税引前四半期利益		51	△33
利益に対する調整項目			
減価償却費及び償却費		500	454
固定資産に係る損益		△0	14
持分法による投資損失		14	17
金融収益		△260	△136
金融費用		135	118
その他		209	△4
利益に対する調整項目合計		600	463
小計		1,399	1,200
営業活動に係る資産・負債の増減額			
売上債権及びその他の債権の増減額		827	△780
棚卸資産の増減額		△69	△375
仕入債務及びその他の債務の増減額		971	754
その他		△213	△399
営業活動に係る資産・負債の増減合計		1,516	△800
小計		2,915	399
利息及び配当金の受取額		184	9
利息の支払額		△131	△114
法人所得税費用の支払額		△755	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,212	△385
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△112	△95
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		-	△9,033
その他の金融資産の取得による支出		△0	△950
その他の金融資産の回収による収入		2,494	25
その他		△1	△136
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,380	△10,190
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入による収入		-	5,000
長期借入金の返済による支出		△398	△650
配当金の支払額		△142	△142
その他		△17	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー		△558	4,203
現金及び現金同等物の為替変動による影響額		209	△102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		4,243	△6,474
現金及び現金同等物の期首残高		23,622	31,187
現金及び現金同等物の期末残高		27,865	24,712

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

### 1. 報告企業

ノーリツ鋼機株式会社（以下、「当社」）は、日本国に所在する株式会社であります。本要約四半期連結財務諸表は、当社及び子会社（以下、「当社グループ」）、並びに当社の関連会社に対する持分により構成されております。当社グループは、ペン先部材やコスメ部材等グローバルに通用する高い技術を活用したものづくり事業、環境事業、食事業、医療事業、シニア・ライフ事業を主に行っております。事業の詳細は、注記「4. 事業セグメント」に記載しております。当社グループの2016年6月30日に終了する期間の要約四半期連結財務諸表は、2016年8月8日に取締役会によって承認されております。

### 2. 作成の基礎

#### (1) 要約四半期連結財務諸表がIFRSに準拠している旨の記載

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表規則第1条の2」に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たしていることから、同第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。

#### (2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、注記「3. 重要な会計方針」にて別途記載している場合を除き、取得原価を基礎として作成しております。

#### (3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、特に注釈のない限り、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

#### (4) 重要な会計上の見積り及び判断の利用

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが要求されております。実際の業績はこれらの見積りとは異なる場合があります。見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直しております。会計上の見積りの見直しによる影響は、その見積りを見直した会計期間及び将来の会計期間において認識しております。

要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える会計上見積り及び判断項目は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様であります。

#### (5) 基準及び解釈指針の早期適用

当社グループはIFRS第9号（2014年7月）を早期適用しております。

### 3. 重要な会計方針

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、当第1四半期連結会計期間において当社が新株予約権を発行したことに伴う以下の重要な会計方針の更新を除いて、2016年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

#### 新株予約権

当社及び一部の連結子会社は、有償で持分決済型の新株予約権を発行しております。発行価額は付与時の公正な評価単価により決定し、付与時に現金で受領しております。

また、連結財政状態計算書には当社の発行した新株予約権をその他の資本の構成要素に、連結子会社の発行した新株予約権を非支配持分に含めて計上しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を用いて算定しております。

### 4. 事業セグメント

#### (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは従来から継続して取り組んでいた「ものづくり」分野に加え、「環境」、「食」、「医療」及び「シニア・ライフ」の各分野を新たな成長領域と捉え、事業機会捕捉・拡大と収益力の強化を目的としたポートフォリオの構築に取り組んでおります。

したがって、当社グループは販売体制を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「ものづくり」、「環境」、「食」、「医療」、「シニア・ライフ」の5つの業種及び「その他」の業種を報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属するサービスは下記のとおりであります。

ものづくり	ペン先部材・コスメ部材の研究開発、生産・販売
環境	太陽光発電設備による発電・販売
食	水耕栽培による生鮮野菜の生産・販売
医療	遠隔画像診断による放射線科業務支援サービスの提供 レセプト・データの分析・調査データの提供 歯科材料・医療材料の通信販売 予防医療事業における研究開発・サービスの提供 医療機関に対する経営コンサルティング 遺伝子検査サービスの提供 バイオ医薬品の研究開発・販売 保険薬局向けレセプト処理システム等及び医薬品データベースの開発・販売
シニア・ライフ	シニア向けの出版・通信販売
その他	新成長領域進出に関する調査・投資

#### (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は「3. 重要な会計方針」における記載と同一であります。

(3) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目の金額に関する情報  
前第1四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	ものづくり	環境	食	医療	シニア・ ライフ	その他	計		
売上収益									
外部顧客からの 売上収益	2,360	29	92	2,491	5,216	171	10,362	-	10,362
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,360	29	92	2,491	5,216	171	10,362	-	10,362
セグメント利益 (△は損失)	500	14	△22	△9	75	100	658	-	658
その他の収益・費用 (純額)									△7
営業利益									651
持分法による投資損失									△3
金融収益・費用(純額)									99
税引前四半期利益									747

当第1四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	要約四半期 連結財務 諸表計上額
	ものづくり	環境	食	医療	シニア・ ライフ	その他	計		
売上収益									
外部顧客からの 売上収益	2,508	28	89	3,302	5,275	86	11,291	-	11,291
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,508	28	89	3,302	5,275	86	11,291	-	11,291
セグメント利益 (△は損失)	631	12	△29	72	122	△10	798	-	798
その他の収益・費用 (純額)									△29
営業利益									769
持分法による投資損失									△17
金融収益・費用(純額)									18
税引前四半期利益									769

## 5. 非継続事業

当社は、前第4四半期連結会計期間において、NKワークス株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社エム・エム・ティーの保有する全株式を売却いたしました。

NKワークス株式会社はものづくりセグメントにおける写真処理機器の製造販売及び環境セグメントにおける環境ソリューション製品の販売を担当しておりました。また株式会社アイメディック及び株式会社エム・エム・ティーは医療セグメントにおける整形外科領域のインプラント器具の製造販売を担当しておりました。

売却に伴い上記事業を終了したため、前連結会計年度において非継続事業として分類しております。

なお、写真処理機器の販売会社の一部が清算等の手続き中であるため、引き続き当第1四半期連結会計期間において非継続事業として表示しております。

## (1) 報告セグメント

ものづくりセグメント、環境セグメント及び医療セグメント

## (2) 非継続事業の業績

非継続事業の業績は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
非継続事業の損益		
売上収益	4,053	5
売上原価、販売費及び一般管理費	△3,699	△19
その他の収益	85	0
その他の費用	△401	△19
営業利益	37	△33
持分法による投資損益	△11	-
金融収益	28	0
金融費用	△3	-
税引前当期利益 (△は損失)	51	△33
法人所得税費用	△172	-
非継続事業からの当期利益 (△は損失)	△120	△33



## 6. 1株当たり四半期利益

当社の親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

## ① 基本的1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	418	231
親会社の普通株主に帰属しない利益(△損失)(百万円)	-	-
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	418	231
継続事業からの四半期利益(百万円)	538	264
非継続事業からの四半期利益(△損失)(百万円)	△120	△33
期中平均株式数(株)	35,614,025	35,613,992
基本的1株当たり四半期利益(円)	11.74	6.49
継続事業からの1株当たり四半期利益(円)	15.11	7.41
非継続事業からの1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.37	△0.93

## ② 希薄化効果調整後1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(百万円)	418	231
四半期利益調整額(百万円)	△37	△33
希薄化効果調整後1株当たり四半期利益の計算に使用する四半期利益(△損失)(百万円)	380	197
希薄化効果調整後継続事業からの四半期利益(百万円)	513	230
希薄化効果調整後非継続事業からの四半期利益(△損失)(百万円)	△133	△33
期中平均株式数(株)	35,614,025	35,613,992
希薄化効果調整後1株当たり四半期利益(円)	10.68	5.55
希薄化効果調整後継続事業からの1株当たり四半期利益(円)	14.42	6.48
希薄化効果調整後非継続事業からの1株当たり四半期利益(△損失)(円)	△3.74	△0.93

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。